

設立趣旨書

1 趣旨

現在、私たちの暮らすまちは、開発的なまちづくり（道路整備、デベロッパーの開発、区画整理など）から、仕組みとしてのまちづくり（福祉や地域経済の活性化など）まで大小さまざまな形で行われまちを支えています。しかし、昨今のまちづくりは高度化、商業化しており、莫大な資本と主体がからみあいながらまちづくりを展開するという状況となっており、まちで暮らしている人たちにとっては良い変化悪い変化であってもまちづくりのプロセスからの参加は難しく、街の変化を受け入れて行くしかないのが現状となっています。

また、まちに暮らす人たちも、自分に直接的に関係する環境の変化や関心の高い事柄に対しては意識が高くても、家の外の出来事や地域の事に関しては意識が希薄になって来ています。

その為、まちは個性が見えない、愛着がわからない、納得のいかないまちづくりを止められない、といった問題が起き、使われない仕組みや施設が生み出されまちは疲弊しています。

今までまちづくりの推進役であり主体でもあった地方公共団体の再編という社会的変化は今後のまちづくりに大きな影響を及ぼしていくと考えられます。

その様な現状で求められるのは新しいまちづくりの主体です。同時多発的なまちの問題に対し取り組むことができるのはまちに暮らす人しかありません。自分たちの暮らすまちを自分たちで作って行くことが求められます。既に自発的に活動をしている人や団体もいますが、現行のシステムに立ち向かって行くには多大なエネルギーが掛かり、一部の人に限られています。

まちなか研究所 わくわくは、個人がまちづくりに参加し活動していく為の障害を取り除き、まちにかかわっていく楽しさ大切さそして愛着を育てるまちづくりの仕組みを考えます。その為の事業として、「まちを伝える」「まちでつなげる」「まちを創る」「まちで支える」という4本の事業を行い、すべての人々が自ら暮らすまちを想い、考え、納得してつくっていけるような市民社会を実現します。

2 申請に至るまでの経過

平成 16 年 8 月 16 日午後 7 時半より 設立総会を開き、設立の趣旨、定款、平成 16 年度及び平成 17 年度の事業計画、収支予算、設立当初の役員などを提案し、審議の上決定致しました。

平成 16 年 8 月 16 日

特定非営利活動法人 まちなか研究所わくわく

設立者 小阪 亘

住 所 個人情報のため非公開

氏 名 小阪 亘